



埼玉支部報 第11号

目次

新年支部懇談会を所沢で開催	1	50山ラリー実施状況	9
忘年山行及び講演会	2	埼玉支部行事案内(3~5月)	10
四季の山 八海山・赤城山	4	委員会状況・同好会状況	10
第8回安全登山講演会(安全登山委員会)	6	会員/会友異動状況	10
自然保護委員会の活動状況	7		

新年支部懇談会を所沢で開催

平成26年の新年支部懇談会を、1月4日(日)に、所沢で実施した。

懇談会に先立ち午前中は50山の「荒幡(あらはた)富士」を歩いた。西武線の下山口駅に集合して、明治時代に村人が狭山丘陵の上に更に土砂を積み上げて作った、荒幡富士まで暫く住宅地の中を行くとやがて西武園ゴルフ場に突き当たると緑が多くなり、浅間神社はすぐそこである。神社の脇の登山口から合目石に導かれて頂上(標高119m)までは一瞬であったが、向こう側には本家の富士山が霞んで見えていた。続いて、鳩峰公園に向かう。暫く住宅地の中を行き林の中の道に入ると林の中に静かな鳩峰八幡神社がある。新田義貞が祈願した神社として名高い。参加者全員で今年の登山の安全を祈った。実は次の日(1月5日)だと摂社の水天宮が混雑していて喧騒となるが、当日は静かで我々だけであった。更に住宅地の中を歩いて八国山を目指す。最後は階段登りとなって稜線に着く。稜線は都県境となっている。途中、トトロのアニメに出て来る病院のモデルになった所を見下ろす。将軍塚というところで三角点(標高89.1m)を見学してから要望があつて東京都側にある古戦場跡の碑に立ち寄った。あとは鎌倉街道を通って所沢駅前の会場である徳樹庵に到着して現地参加者と合流した。

懇談会はいつものように各委員会・同好会の紹介などがあつて盛会であった。ただ荒幡富士に寄つて来た人には運動後の宴会だったのでもう少し食べる物を多くすればよかったと思えた。今後たまには大宮・浦和以外で開催し、地元の街歩きなどを組み合わせると有意義ではなかろうか。個人的にはいつも歩いている散策コースを皆さんと歩くことができ嬉しかった。来て戴いた方、どうもありがとうございました。

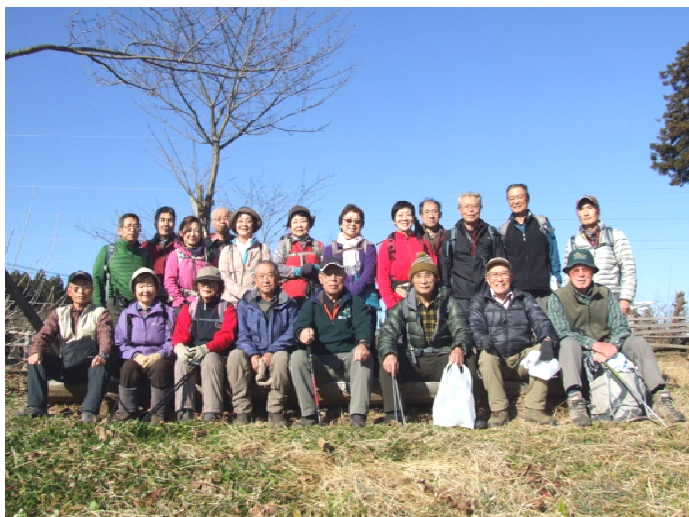
(所沢市在住 堀川清)



埼玉支部2013年忘年山行及び講演会

第1日 琴平丘陵ハイキングと講演会(記:石塚 昌孝)

12月14日、晴天の下、貸切バスで大宮駅を7時に出発、途中東上線若葉駅、西武秩父駅と参加者を増やし総勢18名での山行となり、秩父に向かう。羊山公園駐車場への途中、来年の全国支部懇談会会場となる農園ホテルの下見に立ち寄る。ロビーから見る秩父の山々は迫力があり、その中でも存在感の大きい日本100名山の一つ両神山の雄姿に皆感嘆する。支部懇談会の成功を祈る。



ったがそれも一興。岩井堂、琴平大神社と秩父の歴史に触れながら影森駅に無事到着。待機していたバスに乗車して2時からの講演会場となる立正大学に向かう。

立正大学のユニデンスで先発組と合流してチェックインをして講演会場のアカデミックキューブに移動する。参加者は25名。

14:30から国際山岳ガイドの平岡竜石氏の「世界の山旅の楽しみ」はヒマラヤとアンデスに精通されておられ、スライドでわかりやすくエベレスト中心の講演をいただいた。続いて会員の山下順子氏の「青いケシの旅」として1991年から2012年までの青いケシを求めた旅とスライドによるケシの写真は素晴らしく、新種の発見の説明は感激しました。最後に会員の松本敏夫氏による「埼玉の山岳修験」は埼玉の山岳信仰を理解する上で大変貴重な講演であった。

羊山公園内を歩き、武甲山の麓の芝桜の丘で早速記念撮影、丘陵の中に続く小道のゴミを拾いながらのんびり歩く。落葉を踏みながら歩くのは楽しい。

登山口からは少し急な登りとなり、登山らしくなる。大小さまざまな神社と出会いながら山の香りを楽しむ。

下りは落ち葉が多く滑り易く気の抜けない場面もあ



18:00からユニデンスの食堂で懇親会を開催し、懇親を深めた。二次会は隣のスナックで山の歌を皆なで合唱し、お開きとした。

立正大学の交渉・実施で古川さん及び山行委員会メンバと講演をいただいた講師に感謝。



第2日 御荷鉾山登山(記:奥田 通孝) 11時20分～15時5分(バス乗車時間除く) 天気:冬晴。

12月15日、昨日夜の忘年会の疲れもなく、朝8時半に立正大学熊谷キャンパスを出発、途中若手3名(上野さん、坂口健一さん、詩織さん親子)が合流、バス定員一杯の24名、正田さん車4名、計28名参加のハイキングとなった。当日は、冬型の気候により寒い中、朝から晴天で、幸先よい出発となった。目的地の御荷鉾山は、下久保ダムを過ぎた神流川上流に位置し、共に1,200m超の東西二つの峰からなる山である。定員一杯のバスは万場町から細い林道に入ると急に道幅が狭くなり、急こう配と急カーブをエンジン全開でゆっくり喘ぎながら高度をかせぎ登っていき、標高1,100m 鉾のモニュメントがある西御荷鉾山中央登山口に11時10分に到着した。晴れているとはいえやはり冷える。10分後の11時20分に1班から3班のグループに分かれ順番に登頂を開始した。ここで昨日のハイキング(琴平丘陵)に続き各自がゴミ袋を持ち、身近に落ちているゴミを拾いながらの登頂となった。登頂コースは、良く整備されており、歩き易く、また南側斜面の為、風もなく快適な登りとなった。約30分後の11時55分に不動明王像が立つ1286m 西御荷鉾山山頂に到着、全員で集合写真を撮った後、昼食タイムとなった。当日は雲が殆ど無い晴天で、東は秩父武甲山、東京都最高峰の雲取山、近くは両神山、南東方面遠くは奥秩父、甲武信岳と抜群の視界、北側は、雪を抱いた浅間山、榛名山系、頂上部が雲に隠れていた赤城山と、非常に素晴らしい見晴となった。西御荷鉾山頂上部は広く、南側は草の生えたなだらかな斜面となっており、暖かく気ままに分かれての昼食、昨日の忘年会の残りのチャーハンも振る舞われ、和気あいあいのんびりと過ごす事ができた。

**西御荷鉾山**

12時25分に目の前に見える東御荷鉾山に向け出発、投石峠に向け長い階段状の登山道をひたすら降りていく。午後1時に投石峠、この辺でようやく複数のパーティと行きかう、投石峠の東御荷鉾山の登山口は、急斜面になっており、木の枠で作った階段が欲しい所、最初急登が続き、その後、山腹の脇道を徐々に登りながら稜線に詰め、そこから登り続ける事少々、午後2時5分に1246m 東御荷鉾山山頂に到着した。東御荷鉾山山頂は集合写真が撮れないくらい意外と狭い。そこで少々休憩、写真を撮った後、広葉樹林帯の山道を、途中休憩1回をはさみ、石神峠に向けひたすら下り、午後3時5分峠に到着した。林道

に出る手前の所が急斜面になっておりそこにも階段が欲しい所、その後林道に出ると、すぐに東御荷鉾山から駐車場に向かった正田さん御夫妻の車とバスがほぼ待つことなく到着した。最後に捕ったゴミを前に記念の集合写真を撮り、ハイキング終了となった。帰りの車中は昨日の忘年会の酒もあり、終始楽しく過ごす事ができた。今回の忘年山行を企画された幹事の方々を始め、正田さん御夫妻、又撮影班の方々、ゴミ拾いに大いに活躍していただいた坂口さん親子他、本当にお疲れ様でした。今回の山行では、少々寒くても冬でも1,000mクラス以上の秩父の山々に山行ができる埼玉支部は、大変恵まれている環境であり、そうした自然を守っていくことの大きさを改めて感じた。



四季の山 八海山、赤城山

山行・集会委員会の四季の山は、紅葉の新潟県の苗場ドラゴンドラと八海山を計画して、正田TLが突然の入院で不参加になったが、大久保、稲越、藤野、森田、正田(緑)、堀川、松本、富樫、橋本、吉田、奥田(新人)、斉藤(友)の12名が参加した。

11月9日遠忠屋の貸し切りバスで大宮7:00、川越7:45に出発して関越高速道路の川越ICから乗って月夜野ICで下りて17号線を通って苗場バスターミナルに到着して、田代高原に登るドラゴンドラ(ゴンドラ)に乗る。

苗場山の裾野の尾根・谷川を龍の様に直線で登るゴンドラで眼下に紅葉を楽しめた。ゴンドラの営業はスキーシーズンまでに整備をするため明日で終了する。田代高原を散策して寒風の中昼食を済ませて田代ロープウェイで二居の山麓駅に降り、回送したバスに乗車して六日町に向かう。



バスの中で明日の天候が低気圧の接近で日本海側は大荒れの予報が出ているので八海山登山は中止して弥彦山に変更の案があるが、関東地方の天候はよさそうなので上州の山で赤城山、榛名山、妙義山への変更を提案して決定は夕食後の二次会で決めることにした。

六日町に14:00ごろ着く見込みで八海山がよく見えるので今日、ゴンドラに乗って行けるところまで登ることになり急遽変更してゴンドラに乗る。帰りのゴンドラ最終が16:20なので女人堂までの往復の計画書を提出したが15:00に引き返す事として14:20ゴンドラ山頂駅を出発する。天候は薄曇りで八海山の中腹は紅葉が進でおり山全体が西日に赤く染まっている。女人堂までの半分ぐらいの所で次の登山の機会に訪れることを考えながら引き返す。展望台からは関東地方の山々や新潟の山が見渡せて八海山の登山の気分は楽しめた。



八海山麓駅から八海山を望む

宿の龍気別館は温泉の湯治宿で 1 泊 2 食付きで 5500 円で安い。自炊もでき、数人の釣りグループが自炊をして自分たちで採ったキノコ鍋を楽しんでいた。夕食後部屋で用意したワインと焼酎で二次会を開催し、明日の予定を話し合っって稲越さんが詳しく赤城山の黒檜山(くろびやま)の説明をしてくれたので決定する。

10 日の朝は雨がまだ降っていないが風が強く吹いており、天気情報は荒天が予報されている。朝食後 8:30 に出発して沼田 IC で関越高速を下りて赤城山の大沼に登り、黒檜山登山口に到着。いきなり急な登りになり 15 分ほどで大沼や地蔵岳が見える猫岩に出る。時折小雨がぱらつき雨具をつける。黒檜山山頂には 12:15 到着。頂上からは谷川岳方面はガスって見えないが、関東の山々が見える。集合写真を撮り、寒風が強く昼食を食べ、早々に駒ガ岳を目指して出発する。急な下りと笹原の緩やかなの登りと大沼・小沼・地蔵岳の展望があり、山歩きを楽しめた。



赤城山 黒檜山山頂

大沼の大洞駐車場まで急な下りであるが、木道や鉄製の梯子が整備されている。回送したバスに乗車して途中の温泉で汗を流し、関越高速で 19:00 頃に大宮に到着して解散する。(冨樫記)

第9回安全登山講演会「どこでも起こる山岳遭難!？」

- 日時:平成26年1月25日(土)13:30~17:00
- 場所:埼玉会館 3C会議室
- 講師:飯田 雅彦 氏
(秩父警察署・埼玉県警察山岳救助隊 副隊長)



●内容(配布資料から)

1. 全国の山岳遭難発生概要

(平成24年度全国)

・遭難件数 1,988 件(前年比+158 件)

・遭難者数 2,465 人(前年比+261 人)

40 歳以上 74.5%

内 死者 284 人(前年比+9 人)

40 歳以上 89.4%

・遭難原因

①道迷い 41.8%、②滑落 15.4%、③転倒 14%

2. 埼玉県内の山岳遭難発生概要

(平成25年(過去最高))

・遭難件数 67 件(前年比+22 件)

・遭難者数 74 人(前年比+16 人)

内 死者5人(前年比+1 人)、負傷者 43 人、

無事救出等 26 人

・遭難原因

① 道迷い 25 人、②滑落 23 人、③転倒 11 人

・死者原因

道迷いで彷徨って滑落3人、発病2人

3. 平成25年中の県内山岳遭難の特徴

(1)中高年(40 歳以上)登山者の遭難が70%

40 代7人、50 代15人、60 代16人、

70 代14人

(2)行方不明遭難が11件

2人が死亡、8人が捜索活動で発見救助

(3)67件の遭難中、26 件が道迷い

滑落が原因でも道迷いから滑落に至ったのは

6件

(4)山ボーイ、山ガール若年者の事故は14件

(5)ベテランによるクライミング事故は14件

※トレイルランによる事故はなかった

4. 平成25年の遭難事例

(1)死亡事故

・両神山での鎖場積雪のため登頂断念したところで 150m 滑落

・両神山で心筋梗塞

・棒の峰で道迷い

・両神山で道迷い、鎖場から転落

・秩父湖で吊り橋への道を探して崖から滑落

(2)ツアー登山での遭難

・両神山で2件(死亡事故、転倒事故)

(3)道迷い数日後の生還(8件)

・妙法ヶ岳、赤岩岳、仙元峠など

(4)奥武蔵での道迷い(6件)

・横瀬二子岳、棒の峰、大持山、武川岳など

(5)百名山達成者による道迷い

・熊倉山

(6)山ガール、山ボーイ(5件)

・スニーカー、凍結斜面、照明具なし など

(7)体調不良(2件)

・いずれも心筋梗塞

(8)棒の峰

・同一箇所でも事故発生

5. 事故を起こさないために

(1)登山計画を綿密に行ない、自己の登山技術・体力に合っているか確認。

(2)単独登山はしない。

(3)登山届を提出し、家族にも渡す。

(4)登山日の天候を確認し、登山の実施／中止

(5)日帰り登山でも、非常食・照明具・防寒衣・地図・コンパスを携行。

(6)登山開始時間が計画よりも遅れたら、登山を中止。

(7)話しながら、地図を見ながら、〇〇しながら、登山しない。

(8)低山で読図のトレーニング。

6. その他

・レスキューシートを持って行くと役立つ

例えばストックに括りつけて振るとヘリコプターからよく視認できる。

(安全登山委員会)

自然保護委員会の活動状況報告

2014年1月15日(水)18:30より、浦和コミュニティセンター(浦和駅前)で「埼玉の自然を知ろう!」と題して埼玉支部自然保護委員会主催のシンポジウムを開催した。会員以外の方も含めてご参加をいただいた。シンポジウムでは埼玉支部自然保護委員会の活動の各方面を紹介する形式をとり、各委員が1年間の活動の成果を、映像を交えて発表した。シンポジウムでの発表内容を元に自然保護委員会の活動状況を報告する。



シンポジウム開催

(1)武甲山の希少植物(中村直樹委員)

石灰岩の山として有名な武甲山は特異な森林生態系を持ち、絶滅危惧種(注;埼玉県としての絶滅危惧種である)や希少種が多いことでも有名であるとして、下記植物を紹介した。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. セツブンソウ(NT) | 2. フクジュソウ(NT) |
| 3. アケボノスミレ(NT) | 4. シコクスミレ(VU) |
| 5. ミヤマエンレイソウ(NT) | 6. ウラシマソウ(NT) |
| 7. ホソバノアマナ(NT) | 8. ヤマシャクヤク(VU) |
| 9. ヤマドリゼンマイ(VU) | 10. ヒメウラジロ(VU) |
| 11. ヤナブキソウ(NT) | 12. クサタチバナ(EN) |
| 13. ヤマオダマキ(VU) | 14. コフウロ(EN) |
| 15. フシグロセンノウ(NT) | 16. ツルガシワ(EN) |
| 17. ヤマホトトギス(EN) | 18. ノウルシ(VU) |
| 19. ミヤマママコナ(NT) | 20. メタカラコウ(VU) |

- | | |
|----------------|-----------------|
| 21. キクタニギク(NT) | 22. フジバカマ(NT) |
| 23. キオン(NT) | 24. ナンバンハコベ(NT) |
- 注)NT:準絶滅危惧、VU:絶滅危惧Ⅱ類、
EN:絶滅危惧ⅠB類、下線:日本固有種

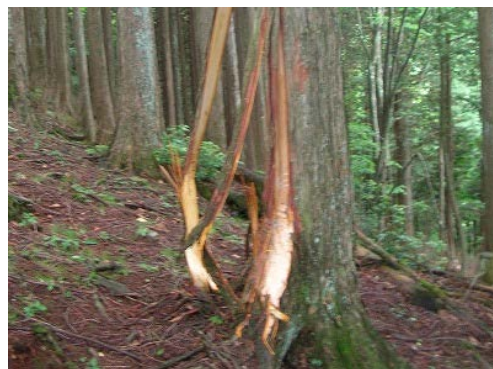
これらの植物の減少理由は、登山道拡張、園芸・販売目的採取、森林伐採・管理放棄、シカ食害、踏み付け、環境悪化などである。

ポール・エーリッヒ(スタンフォード大学・生物学)の大型ジェット機の例えで言うと、ジェット機のリベット(釘)が1つ落ちては飛行に影響はないが、抜けおちるリベットが更に増えると空中分解して墜落してしまう。植物の種も絶滅により減って行くとやがて生物多様性を失って「墜落」の時期を迎えて、生態系と一緒に暮らしている人類も墜落して滅亡してしまうことになる。是非、上記植物を守って行きたい。

(2)埼玉県のニホンジカの被害調査について

(金丸一豊委員)

2011年度は、秩父山系の二子山周辺と奥秩父主脈での被害調査、2012年度は秩父の妙法ヶ岳・和名倉山周辺、八ヶ岳連峰で被害調査を実施、今年度(2013年度)は埼玉・東京・千葉の3支部と本部の合同で霧藻ヶ峰周辺の再調査、雲取山近辺・和名倉山の再調査をおこなった。その結果、シカによる森林や希少植物への被害は全国的に拡大している中でも特に埼玉・東京・山梨の県境付近の山林被害が全国レベルで見てもとりわけ著しいことが判った。



3年間の調査で、埼玉県秩父山域でのシカの生息状況と食害被害の実態はほぼ把握できたと考
える。シカは地理的境界や行政区画には関係なく
集団で素早く移動し、その被害は関東山地の全域
に急速に広まりつつある。この調査結果を踏まえて
実際の植生保護に向かってどう対応していくかは
大きな課題である。近隣支部の自然保護委員会
の方々の協力を得ながら、共に考え、共に活動し
たい。

(3)自然観察会「越生町大高取山」

(高嶋徳紘委員)

2013年11月17日(日)に越生町教育委員会の
後援で一般の方も迎えて自然観察会を実施した。

・観察コース:越生駅前法恩寺～越生神社～要
害山～西山高取下～白岩様～幕岩～タブノキ林
～大高取山～桂木観音ノユズの里～林道～虚空
蔵尊～法恩寺



観察会の様子

・主な内容

- ① 地質学的:大高取山クリッペ(先に造られた秩父堆積岩が三羽川変成岩の上にある)
- ② 植物学的:暖温帯植物であるタブノキ、絶滅危惧種のアリドウシ・ウラジロ、さらにモミノキ、フユイチゴ(実が食べ頃)。ユズ栽培(購入可)。虚空蔵尊境内の「十月桜」。
- ③ 動物学的:イノシシの獣道
- ④ 歴史的:越生氏に関連する法恩寺、越生神社。中世の山城跡(要害山)。桂木観音。虚

空蔵尊。

- ⑤ その他:幕岩からの展望。三角点(山頂、桂木観音)

・その他

自然観察会当日の様子が、NHKにより撮影されたビデオによって紹介された。

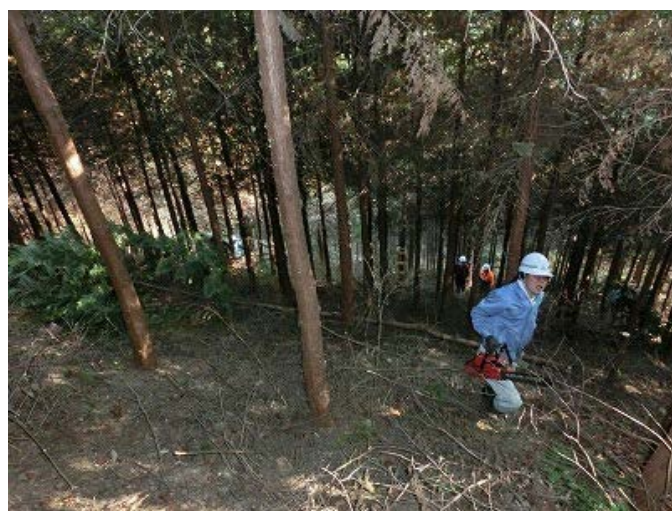
(4)森づくり活動報告

・森づくり活動状況(朝日守委員)

埼玉県森林サポータークラブとのコラボレーションによる活動について、今回は次の3回の状況を
紹介した。

- ー 2012年度第3回(2013.3.23) : 東吾野堀切地区(分収造林契約地区)での枝切り
- ー 2013年度第1回(2013.7.14) : 越生ふれあいの里山での下草刈り(猛暑の中)
- ー 2013年度第2回(2013.10.27) : さいたま緑の森博物館での下草刈り

(注)2013年度第3回は1月18日(土)に東吾野で枝打ちが実施された。



2013年度第3回の作業現場
(傾斜がきつい現場であった)

・森づくり活動後の観察会(吉田寛治委員)

森づくり活動は原則午前中である。昼食後、参加者だけで近所の里山の観察会を実施しており、森づくり活動参加者にとって楽しみともなっている。今回のシンポジウムでは、緑の森博物館のボランティアによる植物観察会へ参加した折りの内容が紹介された。

緑の森博物館は自然そのものが展示物である。
珍しい植物もある。例えば初夏にはザゼンソウの
仲間のヒメザゼンソウのかわいい姿が見られる。

(注)2013年度第3回では作業後に車を利用して
福德寺(下記写真参照)、ユガテ、顔振峠を散
策した。



(5)フリーディスカッション

シカ被害の今後の活動について、今後は問題点
の指摘や、対策の提案などができればベストという
声があった。例えば、シカの猟期の問題やシカ肉
の提供などの問題がある。ちなみに東京都ではシ
カ肉加工場施設があるという。

今後も、絶滅危惧種保護、シカ被害状況監視、
自然観察会、森づくりを軸に、自然保護委員会の
活動を進めて行くということで、今年度のシンポジ
ウムの幕となった。

発表者・参加者、更に各活動への参加者の皆さん
に感謝をして報告を終わります。

(自然保護委員会)

50山ラリー実施状況

●2013.12.14 琴平丘陵(100山候補)

忘年山行の初日に羊山公園から影森駅までを歩いた。お
天氣がよく両神山がよく見えた。詳細は本号の忘年山行
の記録を参照して下さい。

羊山公園→武甲山旧登山口→三角点→修験堂→岩井堂→
影森駅

●2014.1.4 荒幡富士

支部新年懇談会の日の午前中に西武線の下山口駅に集
合して新年懇談会の会場(所沢駅前)まで歩いた。詳細は
本号の先頭ページを参照して下さい。

西武線下山口駅→荒幡富士→鳩峰八幡神社→八国山
(将軍塚:三角点あり)→古戦場跡碑→勢揃橋→西武線
所沢駅

●2014.2.2 大久保山

大久保山は三角点がある浅見山、塚本山古墳(群)がある
塚本山を含んだ名称である。本庄早稲田駅前には大きな
ショッピングセンターがあるが山の中は静かな散策を楽しめ
る。また本庄駅の北側は中山道の宿場町として栄えた所
であり見所が多く歩くことをお勧めする。

高崎線本庄駅→新幹線本庄早稲田駅→浅見(あざみ)山
三角点→大久保山→塚本山→本庄市内散策→本庄駅



大久保山の中心辺りで



歴史民俗資料館(旧本庄警察署)
館内に「笑う埴輪」を展示

**2014年度の山岳保険加入はお済みですか。自
分のため、家族のため、仲間のために、保険に
加入しましょう。**

埼玉支部行事案内

3月から6月まで

月	行事	備考
3	2日 大高取山、越生駒ヶ岳 ・集合:越生駅前 9:00 予定	
4	6日 ふれあい登山(仙元山) ・集合:小川町役場前広場 9:20 ・解散:15:30 頃を予定 12日 支部総会 ・場所:埼玉会館 13日 総会記念山行 ・武甲山 19日 ヒマラヤ山行 ・登山(～5/11) ・トレッキング(～5/4 または 5/11)	
5	日未定 100 山 蕎麦粒山	
6	日未定 森づくり(緑の森博物館)	

(注)最終的な日時・場所、内容の変更などはホームページ、メールを参照下さい。

埼玉支部の委員会状況

各委員会からの情報です。支部委員会での情報をもとに、支部報前号発行以降の状況を広報委員会で編集。

●総務委員会

[全般]

・支部総会4/12に埼玉会館で実施予定。

・会員数(2月9日現在)

支部会員 136 名、支部会友8名。

[全国支部懇談会]

・10月の全国支部懇談会次第を決定し、募集を開始。

●広報委員会

[支部報]

・支部報第11号編集。

[ホームページ]

・稲越会員が分担。

●山行・集会委員会

[海外登山]

- ・4、5月遠征のため訓練(机上、富士山、奥日光)実施。
[50山、100山候補選定]
- ・琴平丘陵(忘年山行時)、荒幡富士(新年懇談会時)、大久保山を実施。3月には大高取山を予定。
- ・1月に100山候補選定委員会を実施。おおよそ決定。
[四季の山]
- ・「冬の山;奥日光」は大雪だったが2月8、9日に実施。
[忘年山行]
- ・12月14、15日に実施。(琴平丘陵、御荷鉾山)

●自然保護委員会

[森づくり]

・1月に東吾野で枝打ちを実施。

[自然観察会]

・11月17日に大高取山で実施。

[自然保護シンポジウム]

・1月15日に浦和パルコ10階で実施。

●安全登山委員会

[講演会・講習会]

・第9回安全登山講演会「埼玉県山岳救助隊による事例報告」(1月25日に実施)→本号の記事を参照方

・「心肺蘇生及びAED 使用法」(2月23日に実施)

●社会貢献委員会

[行事開催]

・来年度のふれあい登山は4月6日に仙元山(小川町)で実施予定。参加者募集中。

埼玉支部の同好会状況**●陸地測量部**

・「陸測部報」第5号を発行。第6号を発行予定。

・三峯山参道丁目石調査を実施。

・3/6(木)に浦和パルコ 10 階で第3回講演会実施予定。

埼玉支部の会員異動(2014年2月末日現在)

入会: 東 洋子 15423、菊池武昭 6225、
鈴木宏和 15422、青木 正 15424、
勝山康雄 8772

退会: なし

埼玉支部の会友異動(2013年10月末日現在)

入会: なし

退会: なし

編集後記

この2月は雪かきで苦勞させられました。最初の雪では頑張り過ぎて腰を痛めましたが、2回目の雪では要領がよくなって雪の量の割にはテキパキとできました。皆さんはいかがでしたでしょうか。(堀川)

公益社団法人日本山岳会 埼玉支部報 第11号

2014年(平成26年)2月 日発行

公益社団法人日本山岳会埼玉支部

発行者: 大久保春美 編集者: 堀川清

事務局: 〒365-0053 鴻巣市緑町 5-16 富樫方

HP: <http://www.jac.or.jp/info/shibudayori/saitama/index.html>Eメール: stminfo@jac.or.jp